

令和3年度

入学試験問題

学校法人 明星学園

浦和学院専門学校

看護学科

国語

(一般入試 I期)

[注意事項] (試験が始まる前に読んでおくこと。)

- 1 受験票は机上に表示された受験番号の横におくこと。
- 2 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
- 3 解答用紙に受験番号、氏名を正確に記入すること。
- 4 下敷の使用は禁止する。
- 5 試験終了時に解答用紙と問題用紙は別々に回収する。
- 6 試験終了後は試験監督の指示に従って行動すること。

※ なお、試験中に気分が悪くなった場合は試験監督に申し出ること。

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「子どもを大事にする」ことの中心

子どもを育てることについては、私たち日本人が、固く思い込んでいることがもう一つある。それは子どもを大事にするということの中心である。ふつう、われわれ日本人は、子どもを大事にするというと、その子に余計な苦勞をさせないことだと考えているフシがある。宝物のように大事に育てるとか、床の間に飾っておくように育てるとか、「カゴのトリ」のように育てるといった言い方があるように、子どもを大事に育てるとは、育てられる子どもには何もさせずに、親や周りにいる大人たちが何もかもしてあげることだと考えているということである。

a このような考えは外国でも一般的かというのと、そうではない。外国の場合は、といつても私が直接知っているのは欧米先進国のことであるが、子どもを大事にするとは、日本とはまったく逆で、その子の年齢に応じて、その時期その時期にやれることは何でも体験させることなのである。二歳なら二歳なりに、五歳になればなつたで、また一〇歳になればそれ相応にできることや、やるべきことが数多くあるのであり、そうしたさまざまなことをできるだけやらせてあげることや、子ども自身に体験させること、それができる条件を整えてあげること、そうすることが子どもを大事にするこの中心であると考えているということである。

私が、子どもを大事にすることについて、日本と外国との間にこのような大きなちがいがあること気づかされたのは、I P A (後述※)という、子どもの遊びや遊び場の意義を広めることを目的にした国際ボランティア団体の理事をしていたときである。会長、副会長、事務局長、それに各国から選出された五人の理事、計八名で構成されるI P A の理事会は年に二回世界各地で開かれるが、理事の一人として子どもの遊びや遊び場をめぐる様々な議論に加わっているうち、子どもを大事に育てるといふことのイメージや内容が、われわれ日本人とは相当に違うことに気づかされたのである。

その違いは先に述べた通りで、先進国の人たちは、とにかく、その年齢でできることは何でもやらせること、その子がやりたいといつたら何にでも、たとえそのことが危険を伴うことであっても、あえてチャレンジさせることが子どもを大事にすることだと考えていて、実際そうしているということである。であればこそ、先進国の人たちの目には、日本のように、子どもに何もさせずに床の間に飾っておくというのは、子どもをこの上なく虐待していることだと映るのである。内気(shy)であることを美德とみるか、能力が劣るとみるかの違いも、根は同じところにあるといえる。文化の違いといつてしまえばそれまでであるが、社会力のある人間、他の人と協力しつつ①苦キョウを乗り切つていける人間に育てるために、どちらの育て方が②りに適っているか。b 答えは自ずと明らかなることである。

「教育」によつて子どもは育つか

このついでに、あと一つ苦言を呈しておくことにしたい。子どもを育てることの主役とされる「教育」についての思い込みである。世界に冠たる教育立国といわれるわが国では、よくも悪くも、教育に対する期待がきわめて高い。ここでのいう教育とは、主に学校で行う意図的な教育のことであるが、いい意図をもつて、いい教育をすれば、何でもうまくいくという思い込みが強い。日本人がこのように考えるようになったのは、A、聖徳太子の時代から、人が育つのは学ぶからであり、学ぶとはすでに知識や技術を習得した人から教えてもらうことであり、教わるとは

外国の進んだ文化や技術を受け入れることであったからのことであろうと推察される。そんなわけ、われわれ日本人は「教育」こそ人を育てるのだとかたくなく考えているキライがある。そして、教育とは教え込むことだとかたくなく考えてもいるのである。(a)

B、少年非行が増えたといえ、教師の力をつけろとか、学校カウンセラーを増やせといい、情報化の到来となれば、パソコン教育を義務化せよといい、はては国際競争力を高めるために創造性を伸ばせといい、教育の規制を③カン、和しろといい出すことになる。(b)それだけ、われわれ日本人には、教育に対する期待感や信頼感が高いということになる。教育のしかたさえ変えれば人は何とでもなり、人を何とかすれば社会の不都合も何とかなるというわけである。(c)

教育への信頼感が高いといえれば聞こえはいいが、**c**こうした考え方は、**C**、教育される子どもや人間をあまりに見くびった考え方であり、見方であるともいえる。(d)子どもや個人を④操サの対象としてしか見ていないということである。ヒトの子は、それほど簡単に、着色の仕方によって、赤色になったり青色になったりする動物なのであるうか。入れた器の形によってどんな形にも変形させることができる生き物なのであるうか。もちろん、答えは否である。むしろ、教育というのは、社会的人間としてそれ相当の資質や能力が育った段階で行ってこそ効果を発揮するのであって、社会力の基礎的資質ができていない人間に無理強いしても効果は逆になると考えた方がいい。(e)

d教育というのは、一種のお節介であって、教育を受ける側にとつては「大きなお世話」といったものである。そこまでいうといささか言い過ぎになるが、少なくとも、教育しなければ人は育たない、ということはない。現に、カナダのヘアーインディアン(社会には英語の teach(教える)に当たる言葉はないという)原ひろ子『子どもの文化人類学』。言葉がないということは「教える」という行為や営みがないということである。**D**、ヘアーインディアン(社会にも、learn(学ぶ)という言葉はあるという)。ということは、ヒトの子は学ぶことだけで、十分社会生活に必要な事柄を身につけることができるということである。ヒトの子は、周りにいる大人たちと交わり行動をとるにすることで、**1**力のある人間になっていくことができるのである。

先進国でも、ヒトの子が育つ原理は本質的に同じである。教育で云々という前に、私たちは、まずもって、子どもを、社会力のある人間に育てなければならぬのであり、そのために、他者との相互行為を豊かにし、他者と共同で行う実体験を豊富にする必要があるのである。

※IPAについては、この本文が収録された著書内で後述されているが、本問題には支障がないためその部分は割愛した。

門脇厚司『子どもの社会力』

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

問一 点線部①～④のカタカナを漢字に直したときと同じ漢字を用いるものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 苦キョウ[解答番号は1]

- a このドラマもいよいよ佳キヨウに入った。
- b 拡大キヨウをもらえませんか。
- c あの陸キヨウを渡ってください。
- d つくづく自分をキヨウ量な人間だと思う。
- e キヨウ愕の事実が発覚した。

② リ【解答番号は2】

- a 間もなくリ陸する予定だ。
- b 脳りに焼き付いて離れない。
- c 私の郷りは北海道です。
- d 彼はリ工学部出身だ。
- e リ便性を追求したほうがいい。

③ カンと【解答番号は3】

- a カン慢な動きをしている。
- b カン素なつくりの家だ。
- c さて、カン話休憩。
- d 人々からカン待を受けた。
- e 向きを変えカン線道路へ入った。

④ 操サ【解答番号は4】

- a リーダーを補サする役割について。
- b 教サと幫助の違いを学んだ。
- c サ定に響くかもしれない。
- d 僅サで勝利をおさめた。
- e 彼はいつもサ務衣を着ている。

問二 空欄 A～D を埋めるのに最も適当な語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。同じ記号は一度しか使えません。「A は解答番号は 5、B は解答番号は 6、C は解答番号は 7、D は解答番号は 8」

- a だからこそ b おそらく c 逆にいえば d しかし e なぜなら

問三 本文のある箇所からは次の一文が抜けています。元に戻す場合に最も適当な箇所を(a)～(e)の番号で答えなさい。【解答番号は9】

「要するに、社会に『不都合な』ことが起きるとすぐに出てくるのが、『教育を何とかしろ!』という声なのじゃあ。く」

問四 傍線部 a 「このような考え」にあてはまるものはどれか。【解答番号は 10】

- a 子どもの自主性を生かして野放しに育てようという考え。
- b 周囲の大人があれこれ世話をやくことが子どもを「大事に育てる」ことなのだという考え。
- c 子どもを大事にするということの中身を取り違えているという考え。
- d 日本人は固く思い込みがちな人種であるという考え。
- e 子どもを大事に育てるべきだという考え。

問五 傍線部 b 「答えは自ずと明らかなことである」とはどのような意味か。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は 11】

- a 日本の教育は、外国から見て子どもを虐待しているのと同じであるということ。
- b 日本の教育も外国の教育も、教育の根本は同じところにあるのだということ。
- c 日本と外国の教育の違いは文化の違いに過ぎないのだということ。
- d 日本の教育に比べ、外国の教育の仕方の方が社会力のある人間が育つということ。
- e 社会力のある人間は、他の人と協力することができる人間に育つということ。

問六 傍線部 c 「こうした考え方」とはどのような意味か。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は 12】

- a 「教育」を変えれば人や社会は何とかなるのだという考え方。
- b 人が「教育」や社会をも何とかするのだという考え方。
- c 日本は海外に比べ教師の力が衰えているため変えていくべきだという考え方。
- d 大人は子どもよりも優れているという考え方。
- e 子どもにも年齢によってできることがあるのだという考え方。

問七 傍線部 d 「教育というのは、一種のお節介であって、教育を受ける側にとっては「大きなお世話」といったものである」とはどのような意味か。あてはまるものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は 13】

- a 教育を受けさせたくないという親の存在も認めるべきなのだということ。
- b 教育を受けたくないという子どもの存在も認めるべきなのだということ。
- c 様々な事情から学校に行けない子どもとの格差が出ないようになすべきだということ。
- d 教育は大人の自己満足であって、子どもにとっては全く役に立つものではないということ。
- e 人が育つにあたって教育は必ずしも必要なものではないということ。

問八 空欄1にあてはまる語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。〔解答番号は14〕

- a 応用
- b 適応
- c 社会
- d 人間
- e 教育

問九 本文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。〔解答番号は15〕

- a 世界各国の中で、日本は教育に対する期待が最も高い。
- b 社会力の基礎的資質ができていない人間には多少強引でも早期の教育をすべきだ。
- c 日本人は「教育」によって社会の不都合をも何とかできると考えている傾向にある。
- d 日本では、子どもをあらゆる面で見くびっているため、見直しが必要である。
- e 学校教育というのは、一種のお節介であり、「大きなお世話」でもあるからむしろない方がよい。

二 次の①～⑩の熟語の構成をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 球茎〔解答番号は16〕 ② 雪溪〔解答番号は17〕
- ③ 献花〔解答番号は18〕 ④ 鋭利〔解答番号は19〕
- ⑤ 非常〔解答番号は20〕 ⑥ 無恥〔解答番号は21〕
- ⑦ 前肢〔解答番号は22〕 ⑧ 出沒〔解答番号は23〕
- ⑨ 諾否〔解答番号は24〕 ⑩ 抹消〔解答番号は25〕

- a 同じような意味の漢字を重ねたもの。
- b 反対または対応の意味の漢字を重ねたもの。
- c 上の字が下の字を修飾しているもの。
- d 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの。
- e 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。

三 次の熟語の対義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 自生【解答番号は26】

② 四肢【解答番号は27】

③ 枝葉【解答番号は28】

④ 芳香【解答番号は29】

⑤ 応諾【解答番号は30】

a 栽培 b 胴体 c 悪臭 d 根幹 e 拒絶

四 次の熟語の類義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 懇親【解答番号は31】

② 相違【解答番号は32】

③ 載録【解答番号は33】

④ 技量【解答番号は34】

⑤ 書斎【解答番号は35】

a 掲載 b 親善 c 書院 d 手腕 e 異同

五 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 馬耳東【解答番号は36】

② 天変地【解答番号は37】

③ □炎万丈【解答番号は38】

④ 無□乾燥【解答番号は39】

⑤ 枝葉末【解答番号は40】

①	a	火	b	水	c	木	d	風	e	雲
②	a	異	b	位	c	意	d	威	e	依
③	a	期	b	氣	c	木	d	奇	e	希
④	a	味	b	未	c	実	d	魅	e	美
⑤	a	期	b	枝	c	尾	d	端	e	節

六 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

① □塵を拝す【解答番号は41】

② 根を断つて□を枯らす【解答番号は42】

③ 百□は一見に如かず【解答番号は43】

④ □が差す【解答番号は44】

⑤ 諸□の劍【解答番号は45】

⑤	④	③	②	①
a	a	a	a	a
刃	魔	見	木	前
b	b	b	b	b
刀	間	聞	花	後
c	c	c	c	c
劍	摩	知	茎	右
d	d	d	d	d
盾	磨	話	葉	左
e	e	e	e	e
矢	真	拝	幹	上

七 次の①～⑤の傍線部の活用の種類として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号を何度用いても構いません。

- ① 一人の少女が椅子に座っている。〔解答番号は46〕
 ② 私は泳ぐのが得意だ。〔解答番号は47〕
 ③ 春が来れば水も暖かくなる。〔解答番号は48〕
 ④ テレビを見ながら、お茶を飲む。〔解答番号は49〕
 ⑤ 皆で一緒に歌おう。〔解答番号は50〕

- a 未然形
 b 連用形
 c 終止形
 d 連体形
 e 仮定形